

## 第23回 金型関連技術発表交流会 開催のご案内

(社) 日本金型工業会中部支部  
 支部長 鈴木 政幸  
 技術委員長 田中 幸好

残暑の候 時下益々ご隆昌のこととお慶び申し上げます。日頃より中部支部事業にご理解ご協力賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度「第23回金型関連技術発表交流会」を中部支部技術委員会主催にて下記の通り開催いたします。

金型関連技術発表交流会は、金型の設計、製造等に関する最新の技術情報を金型製造企業の皆様に提供する場として、中部支部会員企業の協力の下、中部支部技術委員会が主要事業の一環として開催しております。本交流会を通じ、会員企業、金型製造企業、金型製造に関わる企業の皆様が積極的な技術交流に努め、既存技術の改善、新技術の開発等に結び付けることができる場としてご活用して戴きたく存じます。

また、技術発表終了後、参加聴講者並びに発表者、技術委員による情報交流会も行いますので、是非多くの方々にご参加いただき、交流を深めていただきたく存じます。

経営者の方々のみならず、ご担当者の方々の積極的なご参加をお待ち申し上げます。

又、(社)日本金型工業会会員以外の金型製造に係わるの方々の参加も可能でございますので、是非お誘いあわせの上ご参加いただけますようお願い申し上げます。 敬具

### 記

<日 時> 平成24年10月25日(木) 午後1時00分～

<会 場> アパホテル 名古屋錦 4階 旭の間

愛知県名古屋市中区錦3-15-30 地下鉄/東山線「栄駅」2番出口より徒歩約1分

<定 員> 50名

<参加費> (社)日本金型工業会 会員企業＝無料、会員外企業＝資料代として1名当たり2,000円

<申込方法> 裏面申込書を中部支部事務局にFAXにてご送付をお願い申し上げます。

返信先：(社)日本金型工業会中部支部 事務局 FAXNo.052-937-9889

<申込締切> 定員に達し次第締め切らせていただきます。

参加申込を受け付けた方にはFAXにて受付票をご送付いたします。

### <プログラム>

PM1:00 主催者開会挨拶

1:05 ①「次世代モノづくり技術の創造と発信の拠点「知の拠点あいち」のご紹介」

(発表者：山本 昌治 氏 / あいち産業科学技術総合センター 副所長

佐藤 豊 氏 / (公財)科学技術交流財団 重点研究プロジェクトコーディネーター

本多 文洋 氏 / (公財)科学技術交流財団 高度計測分析機器利用コーディネーター)

発表終了後、質疑応答 (～2:00)

2:10 ②「Excelを活用した金型設計システムの構築」

(発表者：橋口 淳一 氏 / (株)NTTデータエンジニアリングシステムズ

製造ソリューション事業本部 技術統括部 製造システム開発部 ソリューショングループ チームリーダー)

発表終了後、質疑応答 (～3:10)

3:20 ③「超硬・高硬度鋼の直彫り加工」

(発表者：松井 大樹 氏 / (株)ソディック 名古屋営業所 係長)

発表終了後、質疑応答 (～4:10)

4:20 ④「ダイカスト設計エキスパートシステム Cast-Designer

投資節減・時間削減シミュレーション・ソフト Cast-Designer CPI」

(発表者：伏屋 勇 氏 / 大久保金型工業(株) 代表取締役

今市 和昭 氏 / ヨシカワメイプル(株))

発表終了後、質疑応答 (～5:10)

5:15 聴講者に並びに発表者、技術委員による情報交流会 開催 (発表会会場後方)

6:30頃 情報交流会 終了

\*各発表講演の要旨、参加申込書、質問等記入欄は、裏ページをご参照ください。

\*質疑応答をスムーズに進めるために、事前に皆様からの質問等を募集します。発表者から当日に質問の答えをしていただけるよう進めております。どのようなことでも結構ですので、是非「参加申込書-質問等欄」にご記入ください。(都合上、当日すべての質問にお答えできない場合もありますので、お含みおさください。) 1/2

【発表講演内容要旨】

① 「次世代モノづくり技術の創造と発信の拠点「知の拠点あいち」のご紹介」

(発表者：山本 昌治 氏 / あいち産業科学技術総合センター 副所長  
佐藤 豊 氏 / (公財)科学技術交流財団 重点研究プロジェクトコーディネーター  
本多 文洋 氏 / (公財)科学技術交流財団 高度計測分析機器利用コーディネーター)

あいち産業科学技術センターは、産学行政が連携しモノづくりの基盤となる最先端の研究開発を推進する「知の拠点」の中心的な施設として、2月14日に「2005年愛知万博」跡地にオープンしました。ナノテク研究を推進するための強力な分析施設である「シンクロトロン光利用施設」は、平成24年度中のオープンに向けて、機器の調整を進めているところです。

ここでは、「知の拠点」で実施している「自動車・航空機用材料加工技術に関する研究プロジェクト」において、単結晶 SiC 工具の開発や、磨きレス切削加工、セミソリッド鋳造、サーブプレスによる鍛造の高精度化、アトム窒化など金型技術に関係の深い研究の概要をご紹介します。

また、新たに設置された透過型電子顕微鏡や XPS, TOF-SIMS, EPMA などの分析機器を用いて、企業からの依頼により実施する金属材料評価についても紹介します。

② 「Excelを活用した金型設計システムの構築」

(発表者：橋口 淳一 氏 / (株)NTTデータエンジニアリングシステムズ  
製造ソリューション事業本部 技術統括部 製造システム開発部 ソリューショングループ チームリーダー)

現在、3次元CADを使った金型の3次元設計は一般的に行われている。

最近では単なる金型の3次元設計に留まらず、3次元CADを自社の設計スタイルにフィットするようにカスタマイズして、より高度な利用技術を確認したいというご相談が増えている。

特に金型の海外進出にともない、型設計ノウハウの標準化、型設計の自動化を求めるとご相談が多い。

弊社では、表計算ソフトのExcelを使い、熟練型設計者が暗黙知として保有している型設計ノウハウを型設計手順書として形式化し、さらにExcelが持つマクロ機能(Excel VBA)を使って、型設計手順と3次元CADを連携させる取組を行ってきた。

ここでは、弊社が行ってきたExcel VBAを活用した金型設計の標準化(手順化)の手法と、3次元CADと連携することによって得られる効果について、ご紹介する。

③ 「超硬・高硬度鋼の直彫り加工」 (発表者：松井 大樹 氏 / (株)ソディック 名古屋営業所 係長)

昨今金型寿命向上の為、金型材質が硬くなる傾向がある。

そこでトータルコストの軽減の為に加工方法・工程の見直しを行う上で、弊社最新ミーリング技術のご紹介をさせて頂きます。

高硬度鋼・超硬を切削・研削加工を行う上で、必要と考える要素また課題点の現状をレポート致します。

④ 「ダイカスト設計エキスパートシステム Cast-Designer

投資節減・時間削減シミュレーション・ソフト Cast-Designer CPI」

(発表者：伏屋 勇 氏 / 大久保金型工業(株) 代表取締役、今市 和昭 氏 / ヨシカワメイプル(株))

Cast-Designer はダイカスト鋳造ゲートシステム、オーバーフロー、ベントを迅速、簡単に設計するソフトです。技術者の方が構想を3D CAD ソリッドモデルに素早く変換する支援します。

プランジャーチップ・ゲート面積比率、チップ径を設定することによりゲートシステム 3D モデルが作成されます。

出来上がったゲートシステムを Cast-Designer CPI に依る解析で評価します。

CPI の解析結果にしたがって、微妙な修正を加える事により満足な設計ソリューションを得ることが出来ます。

解析時間が短いことにより複数案の検討が可能となります。

第23回 金型関連技術発表交流会 (H24.10.25) 参加申込書

(返信FAXNo. 052-937-9889)

HP

参加者氏名	役職	部署

会社名

TEL

FAX

<発表者への質問等>

発表者名	質問等
発表者名	質問等
発表者名	質問等